

令和6年1月11日

令和5年度_第5回柏市国民健康保険運営協議会【資料2】

令和5年度決算見込 及び 令和6年度当初予算 について

柏市健康医療部保険年金課

目次

■ 令和5年度柏市国民健康保険事業特別会計決算見込について

- 1-1. 令和5年度決算見込【歳入】 p4
- 1-2. 令和5年度決算見込【歳出】 p5
- 1-3. 令和5年度決算見込【収支】 p6
- 1-4. 国保会計収支の推移 p7
- 1-5. 国保財政調整基金の推移 p8

■ 令和6年度柏市国民健康保険事業特別会計当初予算に係る基礎数値について(仮係数に基づく)

- 2-1. 国民保険料率の改定について p10
- 2-2. 令和6年度の標準保険料率及び保険料率(案) p11
- 2-3. 柏市標準保険料率の推移 p12
- 2-4. 柏市保険料率の推移 p13
- 2-5. 被保険者数の推移(3-2月平均) p14
- 2-6. 一人当たり医療費の推移 p15
- 2-7. 一人当たり所得の推移(本算定時) p16
- 2-8. 一人当たり納付金の推移 p17
- 2-9. 現年分保険料収納率の推移 p18
- 2-10. 令和6年度保険料賦課限度額の改定(見込) p19
- 2-11. 令和6年度保険料軽減判定用所得の拡大(見込) p20

■ 保険者としての取組

- 3-1. 令和6年度国保会計予算(案)の全体像 p23
- 3-2. 令和6年度予算(案)【歳入】 p24
- 3-3. 令和6年度予算(案)【歳出】 p25
- 3-4. 試算結果に基づくケース別年間保険料比較【令和6年度】 p26

令和5年度柏市国民健康保険事業特別会計 決算見込について

1. 令和5年度決算見込【歳入】
2. 令和5年度決算見込【歳出】
3. 令和5年度決算見込【収支】
4. 国保会計収支の推移
5. 国保財政調整基金の推移

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

1-1. 令和5年度決算見込【歳入】

[単位：百万円]

区分	当初予算 ①	補正見込 ②	現計予算 ③=①+②	決算見込 ④	差引額 ⑤=④-③	執行率 ⑥=④÷③
1. 保険料	7,945	▲ 102	7,843	7,664	▲ 179	97.7%
2. 国・県支出金	26,689	0	26,689	25,496	▲ 1,193	95.5%
3. 繰入金	4,322	2,102	6,424	6,424	0	100.0%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,431	102	2,533	2,533	0	100.0%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	2,000	2,000	2,000	0	100.0%
【再掲】基金繰入金	1,891	0	1,891	1,891	0	100.0%
4. 繰越金	0	0	0	53	53	—
5. その他の収入	88	0	88	117	29	133.0%
歳入合計（A）	39,044	2,000	41,044	39,754	▲ 1,290	96.9%

[補足] 表中「【再掲】一般会計繰入金（その他）」の額については、今後の財政当局との協議により決定していくもので、仮置きの数値。

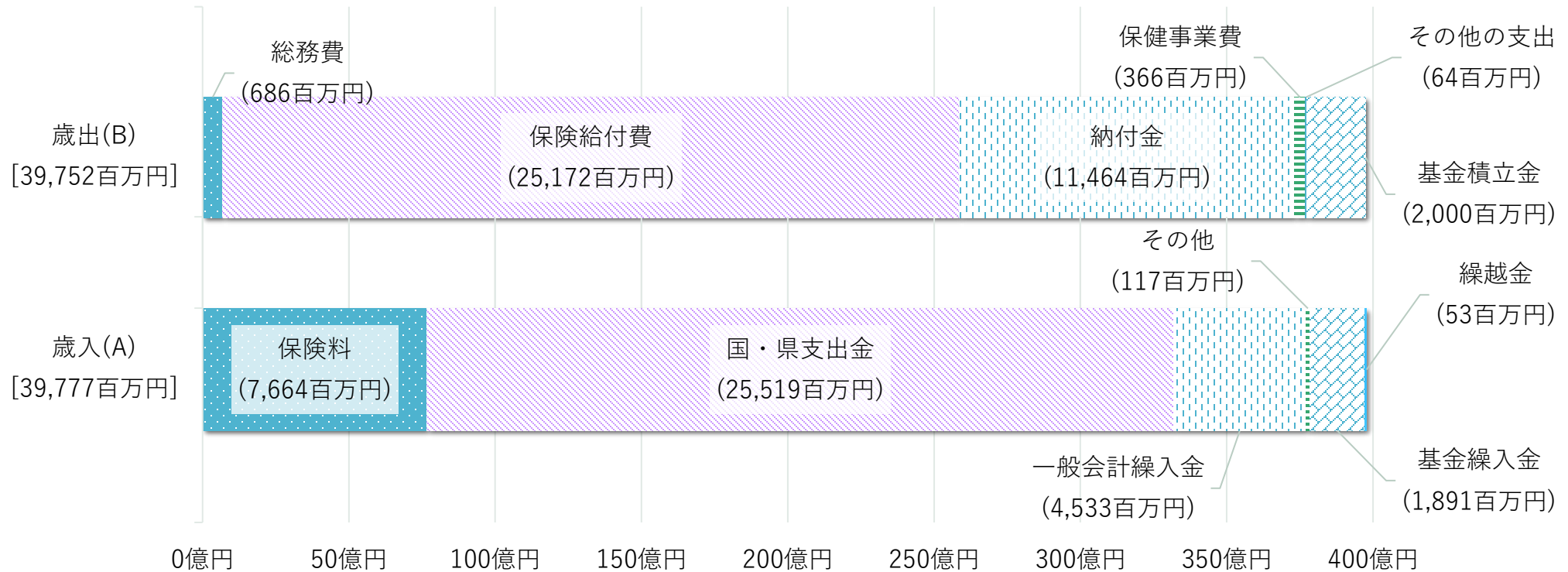
1-2.令和5年度決算見込【歳出】

[単位：百万円]

区分	当初予算 ①	補正見込 ②	現計予算 ③=①+②	決算見込 ④	差引額 ⑤=④-③	執行率 ⑥=④÷③
1. 総務費	686	0	686	686	0	100.0%
2. 保険給付費	26,253	0	26,253	25,172	▲ 1,081	95.9%
3. 国民健康保険事業費納付金	11,461	0	11,461	11,464	3	100.0%
【再掲】医療分	7,568	0	7,568	7,570	2	100.0%
【再掲】後期高齢者支援金分	2,894	0	2,894	2,895	1	100.0%
【再掲】介護納付金分	999	0	999	999	0	100.0%
4. 保健事業費	480	0	480	366	▲ 114	76.3%
5. その他の支出	164	2,000	2,164	2,064	▲ 100	95.4%
【再掲】基金積立金	0	2,000	2,000	2,000	0	100.0%
歳出合計 (B)	39,044	2,000	41,044	39,752	▲ 1,292	96.9%

[補足] 表中「【再掲】基金積立金」の額については、今後の財政当局との協議により決定していくため、仮置きの数値。

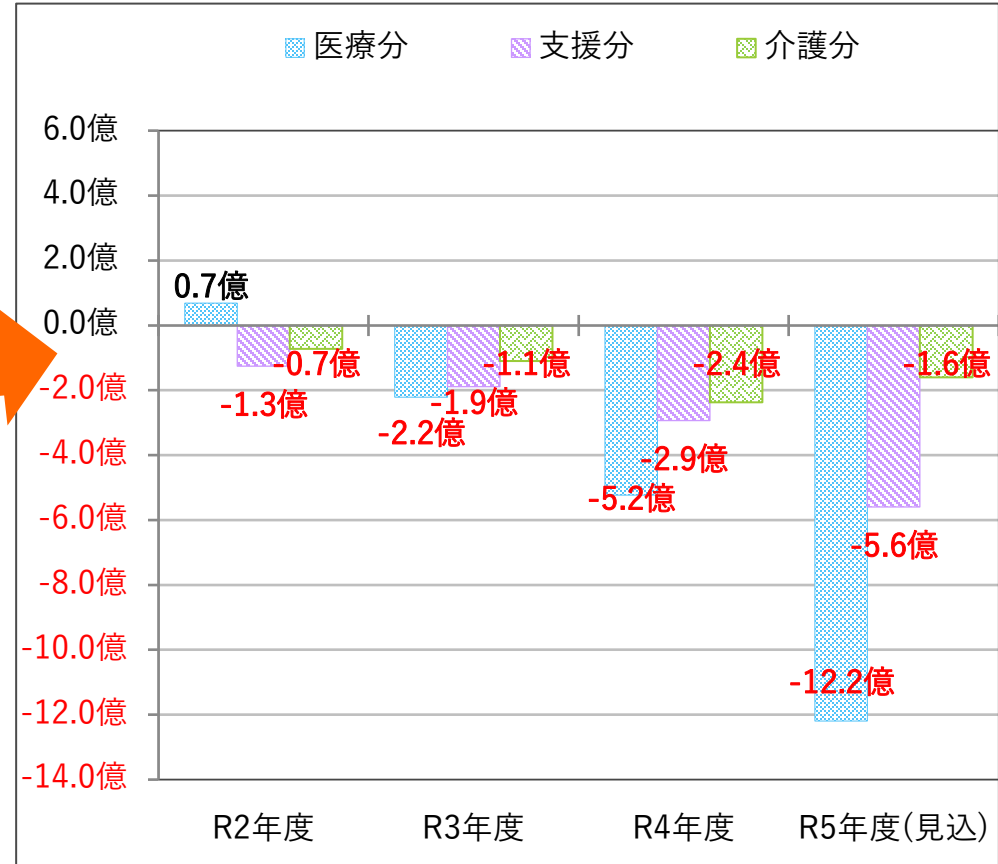
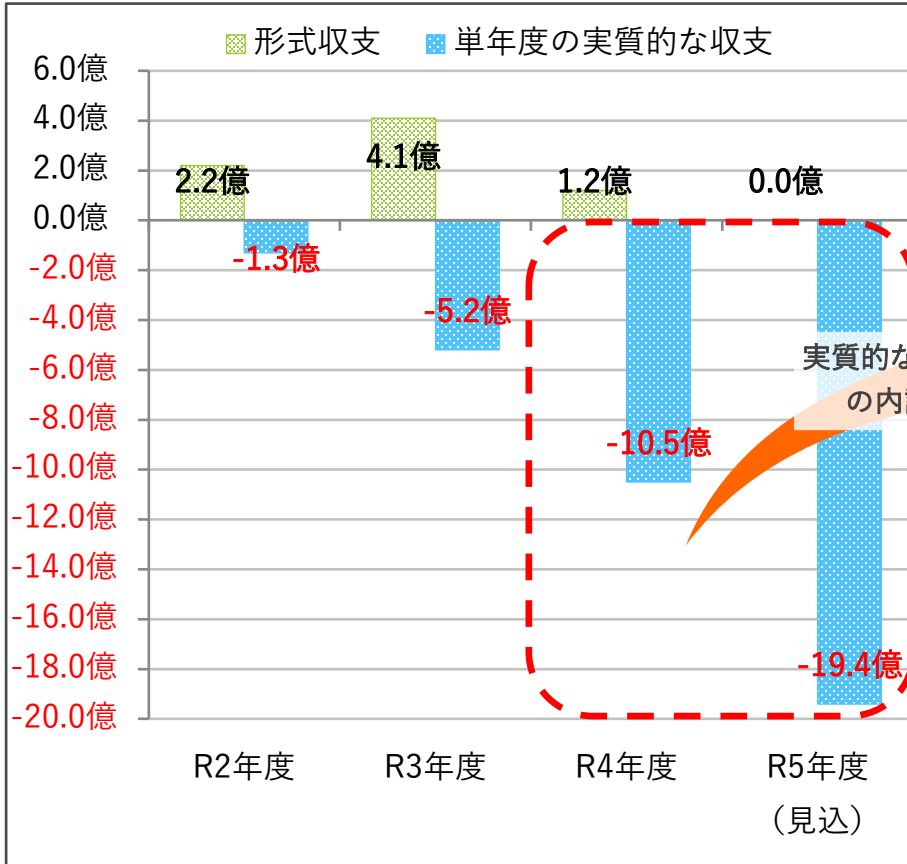
1-3. 令和5年度決算見込【収支】



[単位：百万円]

区分	当初予算	補正予算	現計予算	決算見込
	①	②	③ = ①+②	④
収支差額 [(A) - (B)]	0	0	0	2
基金繰入金及び繰越金を除く収支	▲1,891	0	▲1,891	▲1,942

1-4. 国保会計における収支の推移



【用語定義】

形式収支：歳入－歳出， 単年度の実質的な収支：形式収支－(法定外・基金繰入金，繰越金)+基金積立金

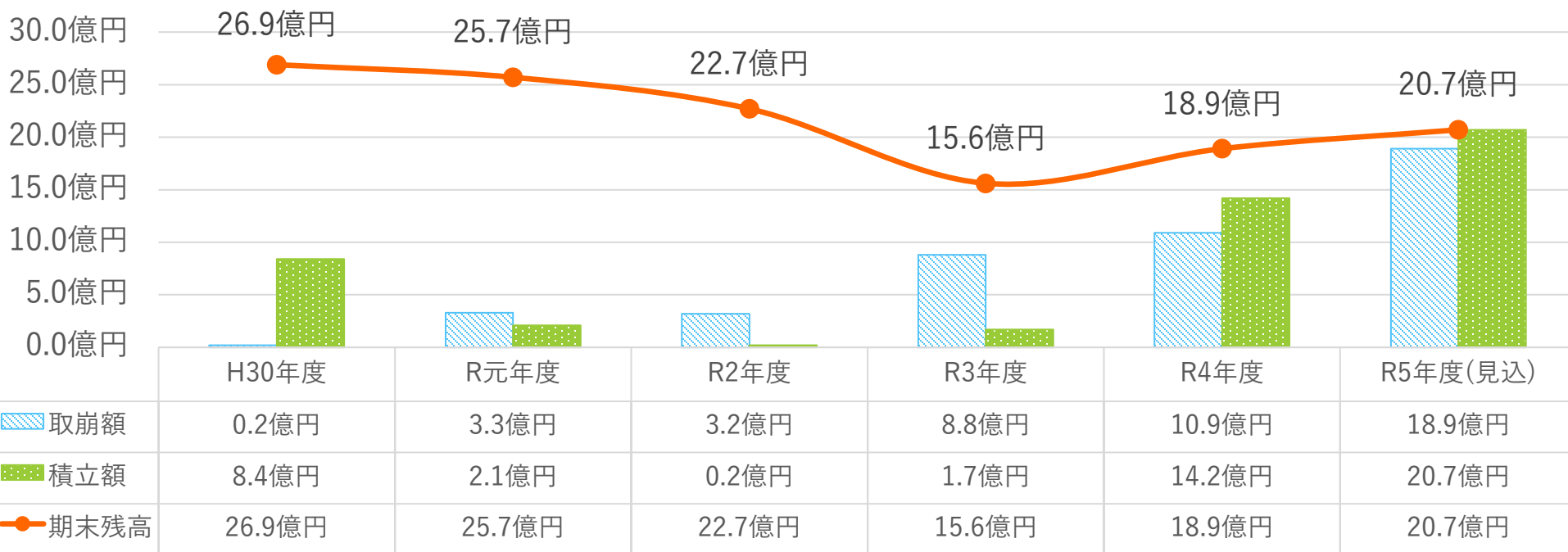
1-5. 国保財政調整基金の推移

■ 取崩額

令和元年度から数億円規模での取り崩しを実施していたが、新型コロナウイルス感染症の社会的な影響を鑑み、令和3年度以降は料率改定を見送り基金を活用した関係から、取崩額が急増している。

■ 期末残高等について

- 計画的に保険料率を改定していくため、**20億円（今後財政当局との協議で決定されるため、仮置きの数値）を一般会計から国保会計へ繰り入れて国保財政調整基金に積み立てを行う見込み。**
- 上記の繰り入れがなされた場合、**令和5年度の期末残高**は、令和4年度の決算剰余金から積み立てた約7千万円を合わせて、**約20億7千万円**となる見込み。
- **令和6年度予算編成に際して**、令和5年度の期末残高(約20億7千万円)のうち**約15.3億円を取り崩すこととしている**ため、実質的な残高は約5.4億円となる見込み。



令和6年度柏市国民健康保険事業特別会計 当初予算に係る基礎数値について(仮係数に基づく)

1. 国民保険料率の改定について
2. 令和6年度の標準保険料率及び保険料率(案)
3. 柏市標準保険料率の推移
4. 柏市保険料率の推移
5. 被保険者数の推移(3-2月平均)
6. 一人当たり医療費の推移
7. 一人当たり所得の推移(本算定時)
8. 一人当たり納付金の推移
9. 現年分保険料収納率の推移
10. 令和6年度保険料賦課限度額の改定(見込)
11. 令和6年度保険料軽減判定用所得の拡大(見込)

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

2-1. 国民保険料率の改定について

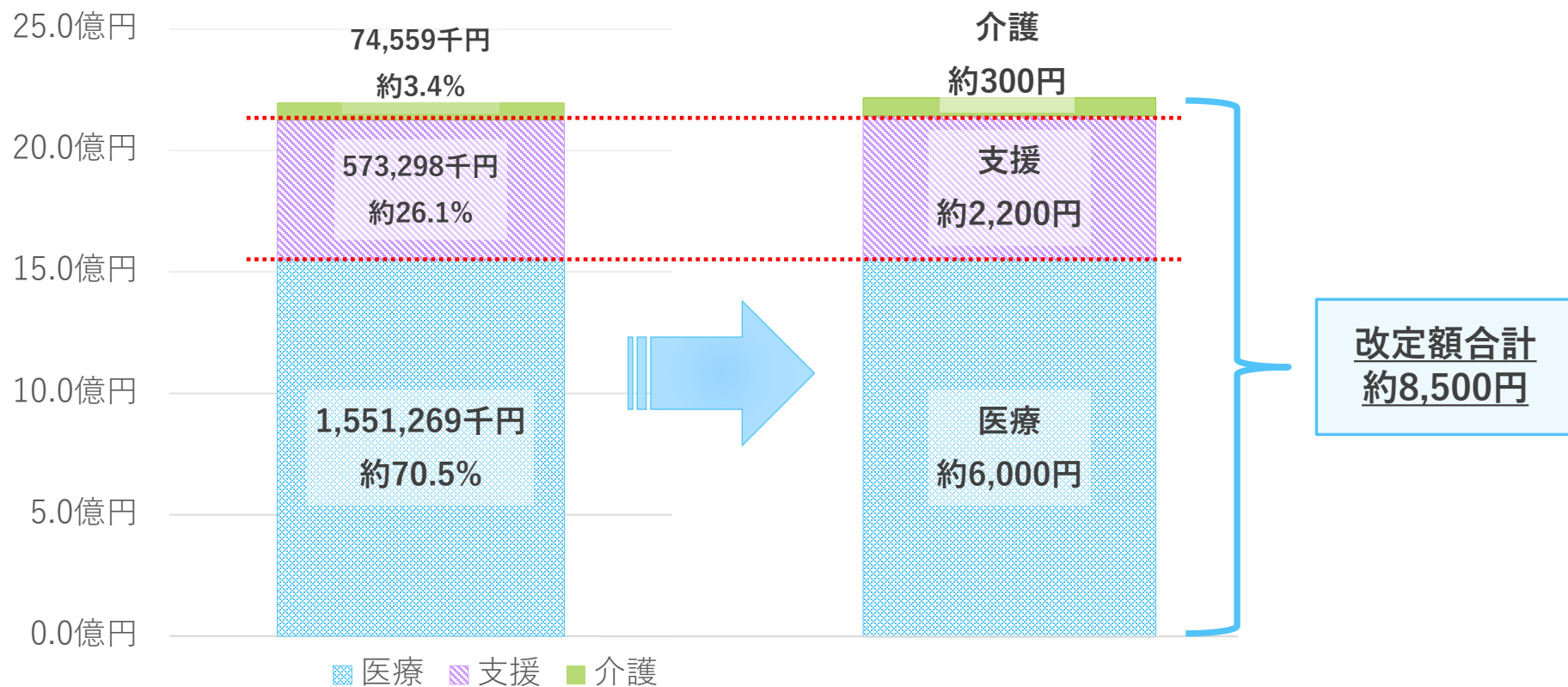
【仮係数に基づく】

■ 保険料率改定の考え方

令和6年度においても保険料率を据え置いた場合の不足額（約22億円）のうち、医療分、支援分、介護分の各割合を算出し、当該割合に基づいて改定額を按分する考えで準備中。

■ 改定額(8,500円)の按分結果

- 医療分：約15.5億円不足 ⇒ 改定幅約6,000円
- 支援分：約5.7億円不足 ⇒ 改定幅2,200円
- 介護分：約0.7億円不足 ⇒ 改定幅300円



2-2. 令和6年度の標準保険料率及び保険料率の見込

【仮係数に基づく】

区分		標準保険料率 ①	令和6年度 保険料率 (見込) ②	標準保険料率との乖離 ③ = ② - ①
医療分	所得割	7.62%	6.89%	0.73ポイント
	均等割	32,082円	27,180円	4,902円
	平等割	14,724円	12,720円	2,004円
支援分	所得割	2.99%	2.57%	0.42ポイント
	均等割	16,132円	13,200円	2,932円
介護分	所得割	2.24%	2.07%	0.17ポイント
	均等割	16,506円	15,000円	1,506円
一人当たり保険料		132,118円	109,893円	22,225円

令和5年11月16日付けで柏市国民健康保険運営協議会から頂いた答申に基づき、毎年一人当たり調定額ベースで8,500円を目安に改定する場合、保険料率は上記のとおりとなる。

この改定の結果、標準保険料(本来あるべき保険料)との乖離は、

令和5年度予算編成時の27,139円から22,225円となり、4,914円

令和6年度予算編成時において保険料率を据え置いた場合と比較して8,500円

改善する見込み。

2-3. 柏市標準保険料率の推移


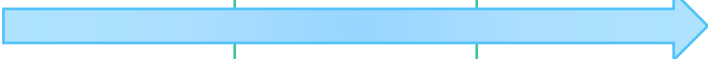

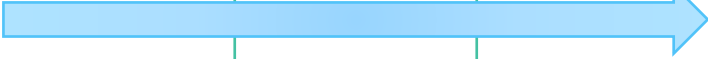


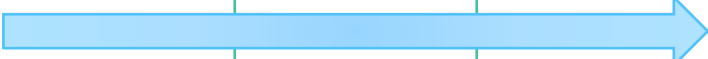

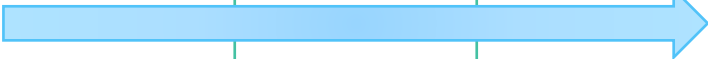

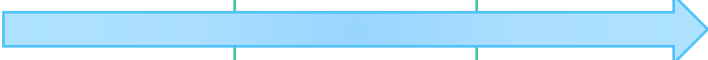

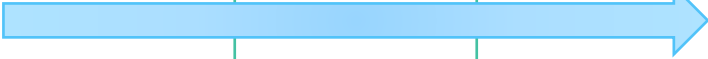
【仮係数に基づく】

区分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
医療分	所得割 (増減)	6.34% (－)	6.64% (+0.3)	6.72% (+0.08)	7.04% (+0.32)	6.83% (▲0.21)	7.26% (+0.43)	7.62% (+0.36)
	均等割 (増減)	24,977円 (－)	26,254円 (+1,277円)	26,900円 (+646円)	28,031円 (+1,131円)	28,015円 (▲16円)	31,310円 (+3,295円)	32,082円 (+772円)
	平等割 (増減)	12,431円 (－)	12,966円 (+535円)	12,997円 (+31円)	13,385円 (+388円)	12,829円 (▲556円)	14,323円 (+1,494円)	14,724円 (+401円)
支援分	所得割 (増減)	2.33% (－)	2.48% (+0.15)	2.52% (+0.04)	2.64% (+0.12)	2.66% (+0.02)	2.86% (+0.20)	2.99% (+0.13)
	均等割 (増減)	11,825円 (－)	12,497円 (+672円)	12,737円 (+240円)	13,263円 (+526円)	13,769円 (+506円)	15,491円 (+1,722円)	16,132円 (+641円)
介護分	所得割 (増減)	1.97% (－)	2.04% (+0.07)	2.12% (+0.08)	2.10% (▲0.02)	2.62% (+0.52)	2.33% (▲0.29)	2.24% (▲0.09)
	均等割 (増減)	14,837円 (－)	15,256円 (+419円)	15,920円 (+664円)	16,625円 (+705円)	19,023円 (+2,398円)	17,713円 (▲1,310円)	16,506円 (▲1,207円)

[出典]千葉県作成「市町村国保事業費納付金・標準保険料率算定結果表」より

2-4. 柏市保険料率の推移

【仮係数に基づく】

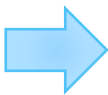
区分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (案)
医療分	所得割 (増減)	6.04% (-0.02)		6.23% (+0.19)				6.89% (+0.66)
	均等割 (増減)	24,120円 (-120)		24,720円 (+600円)				27,180円 (+2,460円)
	平等割 (増減)	12,240円 (据置)						12,720円 (+480円)
支援分	所得割 (増減)	2.29% (据置)		2.35% (+0.06)				2.57% (+0.22)
	均等割 (増減)	11,760円 (据置)		11,880円 (+120円)				13,200円 (+1,320円)
介護分	所得割 (増減)	1.90% (据置)		1.97% (+0.07)				2.07% (+0.10)
	均等割 (増減)	14,400円 (据置)		14,760円 (+360円)				15,000円 (+240円)

2-5. 被保険者数の推移(3-2月平均)

【仮係数に基づく】

■ 被保険者について

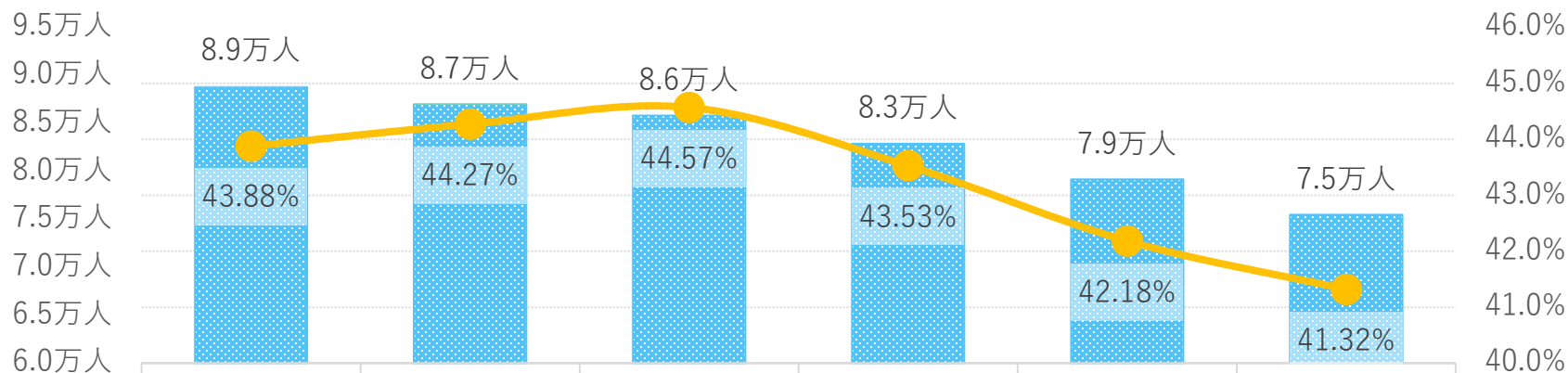
- 被保険者数は急減
- 前期高齢者の割合は減少傾向



団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行したことによるもの

■ 退職被保険者について

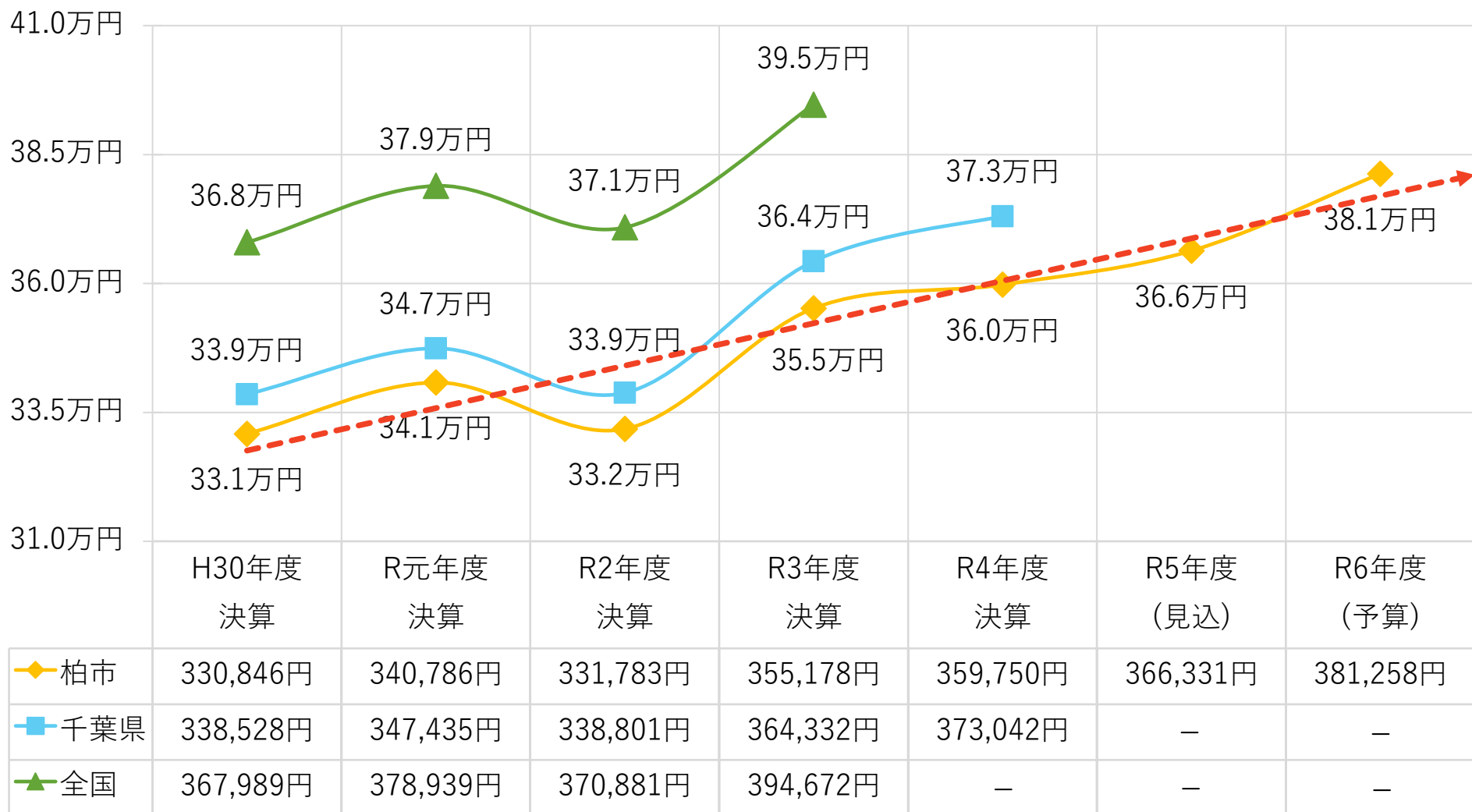
- 平成20年4月の法改正により退職者医療制度が廃止されたが、経過措置として平成26年度までの間は65歳未満の退職被保険者が65歳に達するまで存続することとされていた。
 ⇒対象者が激減し財政調整効果が実質喪失していることを踏まえ、前倒しして廃止されることとなった。【令和6年4月】



	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (見込)	R6年度 (予算)
【合計】被保険者数	88,855人	86,984人	85,810人	82,884人	79,169人	75,472人
【退職】被保険者数	56人	1人	0人	0人	0人	0人
【一般】被保険者数	88,799人	86,983人	85,810人	82,884人	79,169人	75,472人
●前期高齢者割合	43.88%	44.27%	44.57%	43.53%	42.18%	41.32%

2-6. 一人当たり医療費の推移

【仮係数に基づく】



[出典]千葉県作成「第2期千葉県国民健康保険運営方針(案)」より

2-7. 一人当たり所得の推移(本算定時)

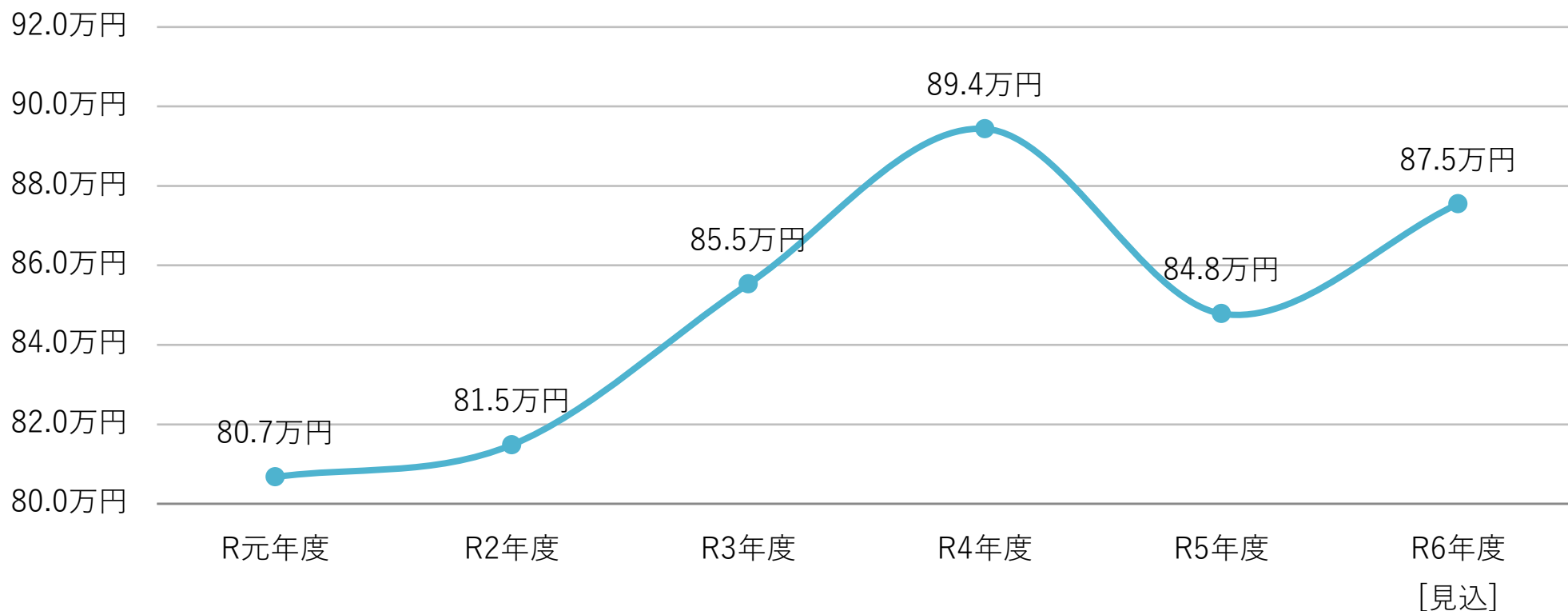
【仮係数に基づく】

■ 近年の状況

- 令和3年度及び令和4年度は、新型コロナ対策の各種給付金の影響と思われる所得の増加がみられた。
- 令和5年度は、各種給付金及び社保適用拡大の影響と思われる所得の減少がみられた。

■ 令和6年度について

- 令和5年度の所得については、社保適用拡大といった被保険者の構成に影響を与える特別な動きがなかったこと、給与所得についての市税における伸び率の見込みなどから、令和6年度は堅調に推移する前提とした。



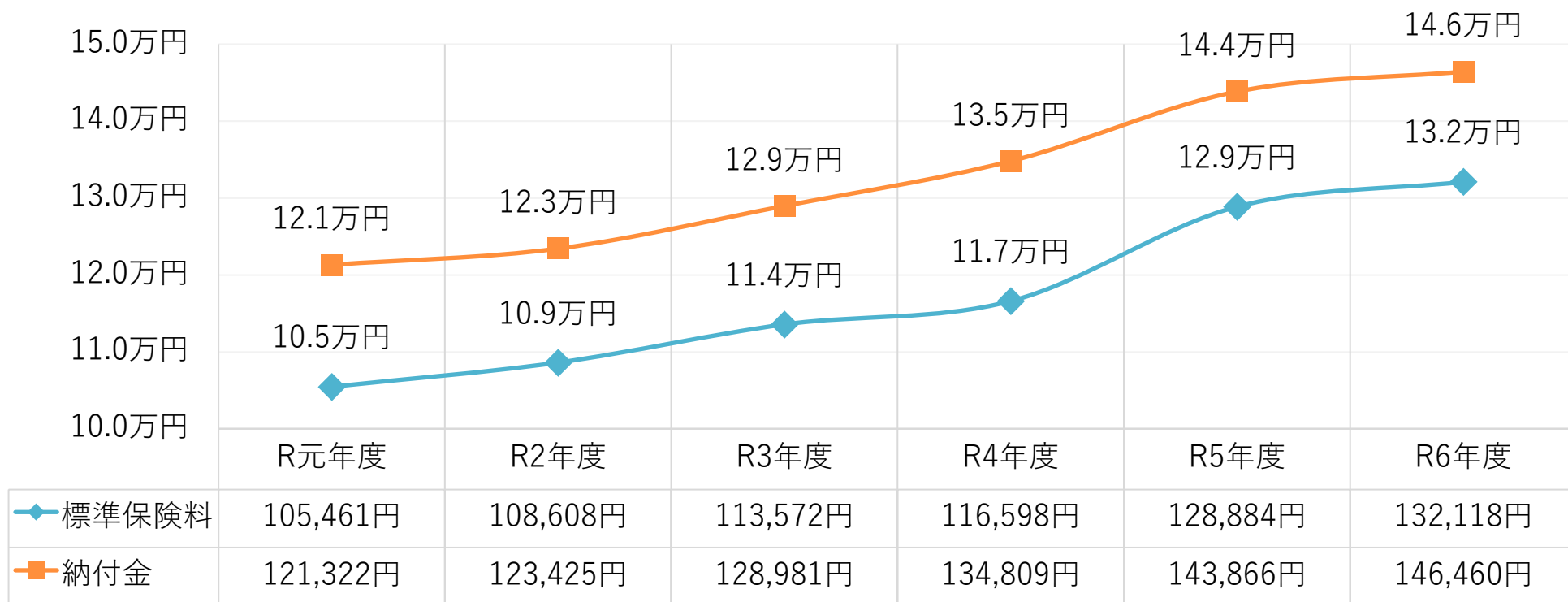
2-8. 一人当たり納付金の推移

【仮係数に基づく】

■ 近年の状況

- 納付金の額は令和元年度以降継続して上昇傾向である。
⇒令和6年度も引き続き上昇している。
- 納付金の額の上昇に伴い、標準保険料も上昇している。

◆ 標準保険料 ■ 納付金



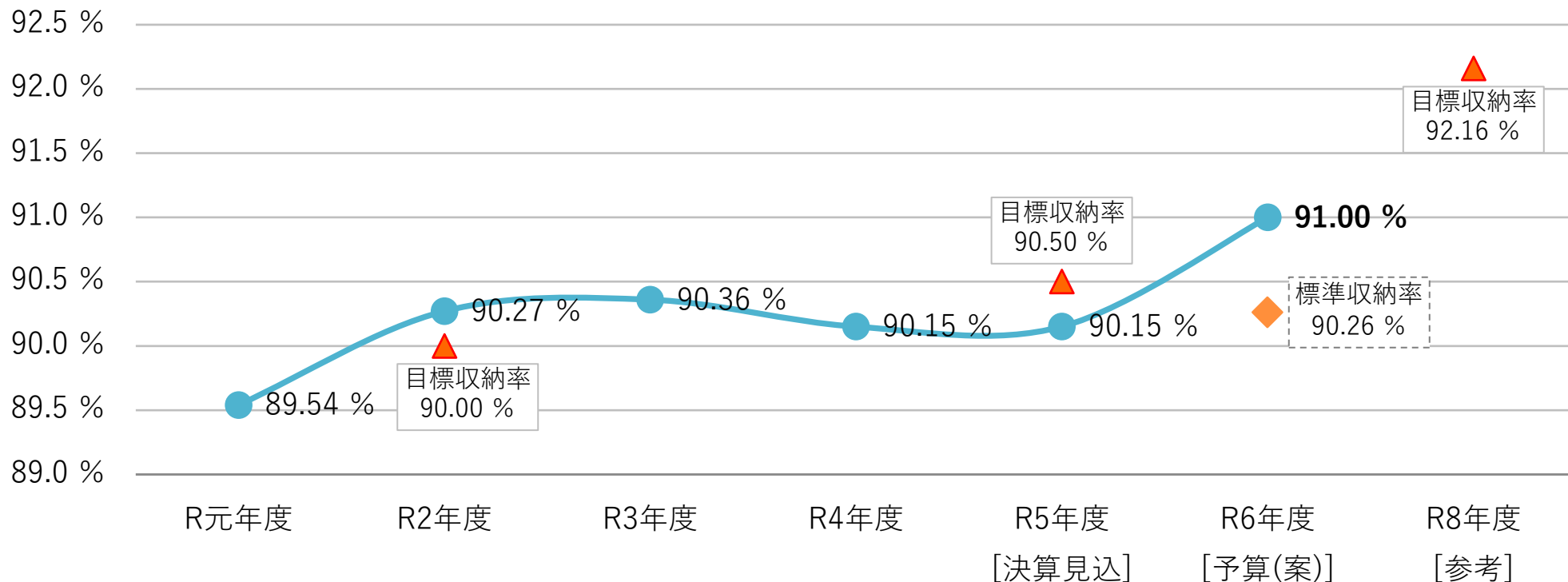
[出典]千葉県作成「国保事業費納付金（1人当たり）」より
[補足]最新年度は仮係数で記載し、最新年度以外は確定係数で記載している。

2-9. 現年分保険料収納率の推移

【仮係数に基づく】

【近年の状況】

- 千葉県が令和6年度の納付金の算定に用いた標準収納率は90.26%であったが、保険料率をできる限り低く抑えるために、保険者としても収納対策を講じることとし、令和6年度予算(案)における収納率は91.00%とした。
- 収納率向上に向けて、次の取り組みを実施していく。
⇒口座振替原則化の徹底（柏市国民健康保険条例等施行規則第12条の2）、電子決済サービスの対応拡大など
- 千葉県の運営方針における目標収納率は次のとおり。
⇒令和2年度までに90.00%、令和5年度までに90.50%、令和8年度までに92.16%



【補足】図表中「R5年度[決算見込]」の収納率は還付未済額を除く

2-10. 令和6年度保険料賦課限度額の改定（見込）

【仮係数に基づく】

1. 概要

国民健康保険法施行令の改正に伴い、保険料のうち後期高齢者支援金分の賦課限度額が2万円引き上げられる見込み（医療分及び介護納付金分は据置）。

2. 引き上げの考え方（国）

- ✓ **被用者保険におけるルール（※）とのバランスを考慮し、賦課限度額超過世帯割合が1.5%に近づくように段階的に引き上げる**
※ 被用者保険においては、最高等級の標準報酬月額に該当する被保険者の割合が0.5%～1.5%の間となるように法定されている。
- ✓ 医療の基礎賦課分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の賦課限度額超過世帯割合が、**前年と比較して増加**しているか、それぞれに**ばらつきが見られるかを基準**として引き上げ幅を設定する

[出典]厚生労働省 第169回社会保障審議会医療保険部会 資料2「国民健康保険の保険料（税）の賦課（課税）限度額について」より抜粋

3. 賦課限度額

区分	医療分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	賦課限度額合計
R5年度	65万円	22万円	17万円	104万円
R6年度	65万円	24万円	17万円	106万円
増減	据置	+2万円	据置	+2万円

4. 限度超過世帯数の見込

- 柏市国保加入世帯：52,288世帯（R6年度見込み）
- 後期高齢者支援分：1,165世帯⇒1,000世帯（▲165世帯，世帯割合**1.9%**）
- 医療分（参考値）：958世帯（世帯割合**1.8%**）

5. 見直しによる保険料調定額の増額見込

18,085千円

2-11. 令和6年度保険料軽減判定用所得の拡大（見込）

1. 概要

国民健康保険法施行令の改正に伴い、5割軽減及び2割軽減の対象が拡大（7割軽減は据置）。

2. 改正内容

【変更前】軽減判定用所得（※前年中の「世帯主」及び「国保加入者」の所得の合計額）

- 7割軽減 43万円 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)
- 5割軽減 43万円 + **29万円** × 世帯内の被保険者数 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)
- 2割軽減 43万円 + **53.5万円** × 世帯内の被保険者数 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)



【変更後】軽減判定用所得（※前年中の「世帯主」及び「国保加入者」の所得の合計額）

- 7割軽減 43万円 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)
- 5割軽減 43万円 + **29.5万円** × 世帯内の被保険者数 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)
- 2割軽減 43万円 + **54.5万円** × 世帯内の被保険者数 + 10万円 × (給与所得者の数 - 1)

令和6年度柏市国民健康保険事業特別会計 当初予算について

1. 令和6年度国保会計予算（案）の全体像
2. 令和6年度予算（案）【歳入】
3. 令和6年度予算（案）【歳出】
4. 試算結果に基づくケース別年間保険料比較【令和6年度】

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。



3-1. 令和6年度国保会計予算（案）の全体像



3-2. 令和6年度予算（案）【歳入】

[単位：百万円]

区分	R5年度 当初予算 ①	R6年度 予算(案) ②	増減額 ③=①-②	増減率 ④=②÷①-1
1. 保険料	7,946	8,077	131	1.65%
2. 国・県支出金	26,688	26,678	▲ 10	▲ 0.04%
3. 繰入金	4,322	4,065	▲ 257	▲ 5.95%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,431	2,536	105	4.07%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	0	0	—
【再掲】基金繰入金	1,891	1,529	▲ 362	▲ 19.14%
4. 繰越金	0	0	0	—
5. その他の収入	88	85	▲ 3	▲ 3.41%
歳入合計（A）	39,044	38,905	▲ 139	▲ 0.36%

3-3. 令和6年度予算（案）【歳出】

[単位：百万円]

区分	R5年度 当初予算 ①	R6年度 予算(案) ②	増減額 ③=①-②	増減率 ④=②÷①-①
1. 総務費	686	698	12	1.60%
2. 保険給付費	26,253	26,295	42	0.16%
3. 国民健康保険事業費納付金	11,461	11,054	▲ 407	▲ 3.55%
【再掲】医療分	7,568	7,298	▲ 270	▲ 3.57%
【再掲】後期高齢者支援金分	2,894	2,848	▲ 46	▲ 1.59%
【再掲】介護納付金分	999	908	▲ 91	▲ 9.11%
4. 保健事業費	480	494	14	2.92%
5. その他の支出	164	364	200	121.95%
【再掲】基金積立金	0	0	0	0
歳出合計 (B)	39,044	38,905	▲ 139	▲ 0.36%
収支差額(A-B)	0	0		
基金繰入金及び繰越金を除く収支	▲ 1,891	▲ 1,529		

3-4. 試算結果に基づくケース別年間保険料比較【令和6年度】

※1人世帯…45歳 ※2人世帯…45歳夫婦（妻所得なし）

所得額	軽減	一人世帯				二人世帯			
		現行	改定後	現行との差		現行	改定後	現行との差	
				期別	年額			期別	年額
43万	7割	18,900円	20,300円	140円	1,400円	34,400円	37,000円	260円	2,600円
72万円(1人世帯) 101万円(2人世帯)	5割	62,200円	67,400円	520円	5,200円	118,500円	128,600円	1,010円	10,100円
96.5万円(1人世帯) 150万円(2人世帯)	2割	107,100円	116,000円	890円	8,900円	204,700円	222,000円	1,730円	17,300円
200万	—	229,000円	248,900円	1,990円	19,900円	280,400円	304,300円	2,390円	23,900円
400万	—	440,000円	479,500円	3,950円	39,500円	491,400円	534,900円	4,350円	43,500円
600万	—	651,000円	710,100円	5,910円	59,100円	702,400円	765,500円	6,310円	63,100円
800万	—	862,000円	939,100円	7,710円	77,100円	904,800円	979,500円	7,470円	74,700円
1,000万	—	1,023,100円	1,060,000円	3,690円	36,900円	1,040,000円	1,060,000円	2,000円	20,000円

